

## 【情報提供】規制改革推進に関する答申の公表について

6月1日に第16回規制改革推進会議 第58回国家戦略特区諮問会議 合同会議が開催され、「規制改革推進に関する答申」（令和5年6月1日 規制改革推進会議）が公表になりました（リンク先）。

[https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/publication/p\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/publication/p_index.html)

当該答申の内容は、例年、6月中旬頃に閣議決定される規制改革実施計画に、基本的にそのまま記載されることとなっております。

厚生労働省老健局の関係箇所としては、以下のような内容が記載されておりますので、ご了承くださいますと幸いです。

### 【規制改革答申（案）要約】

#### 3. 医療・介護・感染症対策

##### (2) デジタルヘルスの推進②—デジタル技術を活用した健康管理、重症化防止— エ科学的介護の推進とアウトカムベースの報酬評価の拡充（P73）

- LIFEについて、フィードバック情報の活用方法の周知、事業所の入力負担軽減等の措置を講ずる。
- LIFEの入力項目の見直しのためのPDCAサイクルの構築に向けた調査研究事業等を行う。
- 介護報酬におけるアウトカム評価の在り方について、引き続き検討を行う。

#### (4) 働き方の変化への対応・運営の合理化

##### ア介護サービスにおける人員配置基準の見直し（P81）

- 近接の敷地等に所在する複数の事業所について、管理者が兼務可能な範囲の見直し等を検討する。
- 人員配置基準等に係る地方公共団体による独自ルールの有無・内容等の整理、公表を検討する。

##### ウ 報酬制度における常勤・専任要件の見直し等（P84）

- 診療報酬又は介護報酬の常勤・専任の配置要件等について、柔軟な働き方の観点から検討する。
- 医療及び介護の分野において、ロボット等の導入を通じた生産性向上を促す措置を検討する。